

(項目)定款第4条に基づき下記の事業を行った。

1. 研究助成事業

1) 若手外国人留学生に対する助成：曾田豊二 SPIO 研究助成金

耳鼻咽喉科学及び関連分野における優れた研究を行う外国人若手研究者を公募したところ、1名の申請があり、審査の結果、以下の1名に75万円の研究助成金を交付した。

(1) Maria Angela Dealino (フィリピン)

東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (指導教授：近藤 健二)

「重度嚥下障害へのマノメトリー検査による術式選択と咽頭縫縮術併用効果の検証」

2) 若手日本人研究者に対する助成：曾田豊二 SPIO 奨学金

海外に留学をする日本人若手研究者を公募したところ5名の申請があり、審査の結果、以下の4名が助成対象となった。(1)山崎あやめ氏に奨学金100万円を交付した。(2)都築伸佳氏、(3)山田智史氏、(4)鹿子島大貴氏は奨学金を辞退

(1) 山崎 あやめ (東京医科歯科大学 耳鼻咽喉科)

留学：米国 Icahn School of Medicine at Mount Sinai

留学目的：めまい平衡学の基礎および臨床研究

留学期間：2024年9月1日～2026年6月30日

(2) 都築 伸佳 (慶應義塾大学 医学部耳鼻咽喉科学教室)

留学：米国 National Institutes of Health

留学目的：「内耳損傷に対する早期血清および外リンパバイオマーカーの同定」を研究テーマとし内耳基礎研究に従事する。

留学期間：2024年9月3日～2026年9月2日

(3) 山田 智史 (浜松医科大学 耳鼻咽喉科)

留学：米国 School of Medicine University of Michigan

留学目的：唾液腺粘表皮癌に行うナノスケール法は、立体構造や核酸の破壊を排除し走査型電子顕微鏡観察を行う手法である。唾液腺粘膜表皮癌 PDX モデルに Bmi-1 阻害薬や CDDP の投与を行い、既存の空間マルチオミクス解析にナノスケール法を取り入れ微細空間での解析に挑む。細胞株による機能解析や臨床検体で解析を行い、CDDP 耐性化機序の解明や Bmi-1 阻害薬の臨床応用を目指すため。

留学期間：2025年3月1日～2027年3月31日

(4) 鹿子島 大貴 (京都大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

留学：カナダ Sunnybrook Health Sciences Centre

留学目的：内耳発生過程における転写因子 Ebf1 の機能を解析する研究に従事してきた。留学先

研究室は蝸牛神経再生に関して多くの功績を残しており、ヒト組織を使用した新規研究を精力的に行っている。留学で蝸牛神経再生研究に関わる実験手法を身につけ内耳研究に携わる研究者と国際交流関係を築き、国際発信力の向上、内耳研究を前進させることを目的とする。

留学期間：2024年10月7日～2026年10月6日

なお、山田智史氏は、募集要件の2025年3月31日までの渡航が不可能となった為、奨学金を辞退。都築伸佳氏、鹿子島大貴氏は、募集要項の条件である日耳鼻海外留学支援制度に採択されたため奨学金を辞退した。

3) 国際的に有意義な研究に対する助成「コストコ SPIO 研究助成金」

難聴及び補聴器関連の研究から選考を実施し、以下の3件の研究に対して、各々に50万円の助成金を交付した。

(1) シナプス障害による感音難聴の治療法開発

(東京女子医科大学附属足立医療センター 耳鼻咽喉科 水足 邦雄 准教授)

(2) 持続性知覚性姿勢誘発めまいの診断と治療

(新潟大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 堀井 新 教授)

(3) AcoustiAP システムを使用した術中 ABR モニタリングにより人工中耳手術適応症例の前向き観察研究

(国際医療福祉大学三田病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 高橋 優宏 教授)

4) SPIO Award の表彰

日耳鼻学会刊行 ANL51 巻 1～6 号に掲載された論文 108 篇の中から対象となる 67 編を日耳鼻英文誌委員会で審査し、最終的に SPIO Award 候補論文として 4 編が推薦された。SPIO 選考委員会および理事会において審査を行った結果、東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 小泉めぐみ氏が選ばれた。賞状と賞金 50 万円を贈呈する。表彰式及び受賞講演は第 126 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会（令和 7 年 5 月 29 日 横浜）において行われた。

Megumi Koizumi: Impact of COVID-19 pandemic on the number of otolaryngologic surgeries in Japan. ANL Vol. 51, No. 3, 617-622, 2024

2. 国際学術会議等開催助成事業

1) 国際学術会議等開催助成

①第 34 回日本耳科学会総会・学術講演会（25 万円）

開催:2024年10月2日（水）～10月5日（土）名古屋市（曾根三千彦 名古屋大学）

②第 69 回日本聴覚医学会総会・学術講演会（25 万円）

開催:2024年10月23日（水）～10月25日（金）東京都（伊藤健 帝京大学）

③第 83 回日本めまい平衡医学学会総会・学術講演会（10 万円）

開催:2024 年 11 月 13 日（水）～11 月 15 日（金）名古屋市（岩崎真一 名古屋市立大学）

④第 87 回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会（10 万円）

開催:2025 年 6 月 26 日（木）～6 月 27 日（金）奈良市（北原 紘 奈良県立医科大学）

⑤第 17 回日本台湾耳鼻咽喉科・頸部外科学会議（20 万円）

開催:2025 年 12 月 6 日（土）～12 月 7 日（日）名古屋市（曾根三千彦 名古屋大学）

2) 国際学術会議等開催助成のための寄附金募集助成

国際学術会議等 年間 36 件(38 学会) 寄附金募集助成（別紙参照）令和 6 年

3. その他

1) ニュースレターを作成して助成事業等の報告を行った。（2025 年 4 月）

2) SPIO クラブを開設し、活動の周知を行う。（第 125 回日耳鼻総会時 2024 年 5 月 大阪）

3) 理事会 5 回、評議員会 2 回、選考委員会 3 回、開催した。